

映画研究部

映画鑑賞レポート

平成28年度

4月分

新入部員募集中です。

映画評論や映画紹介、
映画に関する随筆を
発表してみませんか。

興味のある人は顧問まで。

鑑賞レポート 一覧

- 30632 「アイ・アム・ア・ヒーロー」
- 30638 「バットマン **VS** スーパーマン ジャスティスの誕生」
- 30804 「岳 ーガクー」
- 31923 「**RADWIMPS** の **HESONOO**」
- 32020 「チャーリーとチョコレート工場」

映画名「アイ・アム・ア・ヒーロー」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

退屈だけど平和な日常が、ある日突然、衝撃のサバイバル・フィールドに変貌する。謎の感染によって人々が変貌を遂げた生命体「ZQN（ゾキュン）」で街は溢れ日本中がパニックに陥る。標高の高い場所では感染しないという情報を頼りに、富士山に向かう。

（公式サイト参照）

鑑賞レポート（ネタバレあり）

鈴木英雄の彼女のでっこが ZQN になってしまい、どうするのかわかったら、昔取った漫画のトロフィーで頭をさした時は、刺激が強くて、少し目を離してしまった。英雄が ZQN から逃げているときに、高校生の比呂美に出会ったが、その比呂美が ZQN の赤ちゃんに噛まれていたと分かって、比呂美を殺すのかわかったら、殺さなかった所がかっこよかった。富士のアウトレットに着いて、たくさんの人と出会うが、食料を取りに行く時に、ほとんどの人が感染して、英雄、比呂美、藪だけになった時は、みんな感染してしまうのだなと思った。しかし、英雄はあきらめず、残っている銃弾で、すべての ZNQ を撃った時は感動した。

しかし、最後は比呂美は ZNQ にはならず、目指していた富士山にも着かずに終わったので、少し気になる終わり方だと思った。思った以上にグロテスクでとても面白かったので、行ってよかったです。

今月の鑑賞映画報告

「アイ・アム・ア・ヒーロー」

評価 5/5

グロテスクだ。だが、笑えるところもあり、とても面白かった。

鑑賞レポート 30638

映画名「バットマン VS スーパーマン ジャスティスの誕生」

評価 8 / 10

ストーリー

世界的人気を誇るスーパーヒーロー、スーパーマンとバットマンが互いに全力を尽くしてバトルに挑む姿を描くアクション大作。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

人類のために体を張って頑張っているスーパーマンですが、普通に一般人にも被害が及ぶことになっていき、これは本当に正義なのか、そんな疑問が高まっていきます。そんな中で国のお偉いさんに呼び出しを受けるスーパーマンは律儀にもスーパーマンの格好をしたまま議会にやってきます。そんな中で何者かの陰謀によって大爆発が起きてしまうなど、完全に悪者に成り下がっていくのです。スーパーマンはクリプトン星の放射性物質のクリプトナイトを受けてしまうと一時的に力が地球人以下に弱ってしまうのです。クリプトナイトを利用してレックス・ルーサーはスーパーマンを弱らせて、お母さんを人質に取り、助けてほしければバットマンのクビを持って来いと脅迫し、バットマンが戦うことになります。

バットマンは知恵を使ってスーパーマンにトドメをさすくらいまで追い込みます。しかし、ここでスーパーマンが母親のマーサの名前を思い出したことにより、二人は和解し戦うことをやめるのです。

鑑賞レポート 30804

映画名「岳 -ガク-」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

山岳遭難救助隊の新人である椎名久美と、世界中の山々を登山してきたボランティアの三歩さんの2人により繰り広げられる。新人である椎名は、訓練とははるかに異なる山の恐ろしさが待っていて、どんどん自信がなくなっていた。そんな時に、三歩が山についてのたくさんのことを教えた。度重なる救助の中で、避けては通れない辛さや救助できた時の嬉しさを感じていった。その椎名の横にはいつも三歩がいて、三歩はいつでもどんなときでも助けに来てくれる存在であった。山の恐ろしさ、楽しさ、すべてが伝わってくる映画です。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

主演者が小栗旬、長澤まさみであり、豪華なことから前から見たいと思っていた映画の一つでした。はじめから最後まで、常に山と隣り合わせの話です。まず始めに、自分は住んでいる所が山に近いところであるのですごく身近に感じました。登山は、楽しいことであるけれど、常に危険と隣り合わせのことである。三歩の詞である「また、山においでよ。」が強く印象に残りました。もし、遭難した時には、救助隊が来てくれる、恐怖心ばかりを持たずに楽しさも感じてほしいという三歩の素直な気持ちがまっすぐ伝わってきた。

登山の気持ちよさや救助する場面が、とてもリアルで吹雪のシーンでは吸い込まれそうな勢いでした。また救助隊の助けたい気持ちはみんなたくさんあるけれど、二次災害を防ぐために出勤できない辛さが演技がすごく伝わってきました。山と人間の関係性、過酷な状況や山の大きさ、恐ろしさがあり命の大切さ、人を救おうという強い気持ちに感動しました。

今月の鑑賞映画報告

彼女は嘘を愛しすぎている

評価 4 / 5

歌のうまさと、純粋な気持ちに圧倒されて、歌詞も一つ一つ心に響いてきました。

テラスハウス

評価 4 / 5

テレビの放送からテラスハウスを見ていて、映画も楽しみにしていて、やっと見ることで大満足です。

岳 -ガク-

評価 5 / 5

すべてがリアルに感じられて、登山についてたくさんのことが伝わってきた。

映画名「RADWIMPS の HESONOO」

評価 10/10

ストーリー

2015年にメジャーデビュー10周年を迎えた人気ロックバンド「RADWIMPS」の活動を追ったドキュメンタリー映画です。韓国、台湾、ドイツ、イギリス、フランスで計6公演を開催したアジア・ヨーロッパツアーをはじめ、「Mr. Children」「いきものがかり」といった豪華アーティストを招いて敢行した「胎盤(対バン)ツアー」、10周年の集大成となった幕張メッセでのワンマンライブに密着。圧倒的なライブパフォーマンスはもちろん、ツアーの舞台裏やメンバーのインタビューなどを通し、魅力をあますところなく捉えた作品。

鑑賞レポート

僕は中学1年生のころにRADWIMPSという日本のバンドを知りました。それから今までずっと大ファンでこの映画が発表された時は大喜びでした。公開初日に観に行って合計3回行きました。2000円と少し高かったですが、それぐらいの価値はありました。内容はRADWIMPSの2015年の10月からの3ヶ月とは思えないぐらいの濃さでした。メンバーの1人、ドラム担当の山口智史が無期限休養が発表された所から始まります。そんな不安定のなか海外ツアーがスタートしました。初海外だったそうなので、僕はあまり受けがよくないかなと思ってましたが、大成功だったそうです。そしてすぐに国内の対バンツアーが始まりました。僕としては、スピッツと対バンした時に、スピッツがRADの曲を歌ってくれたのですが、高く透き通るような声で泣きそうになるくらいきれいでした。あとはONE OK ROCKとの対バンで一緒に歌うシーンも泣きそうになりました。僕はこのライブに行けなくて友達が行ったんですが、すぐによかったそうです。ONE OK ROCKも大好きなのですごい行きたかったです。映画は101分ですが、あっという間に終わっちゃいました。日本一のバンドだと思っています。

鑑賞レポート 32020

映画名「チャーリーとチョコレート工場」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

ウィリーウィンカーという人がいて、その人が世界一のチョコレート工場を作りました。ウィリーはあることがあって、人間不信になって従業員をやめさせてウィリーだけになりました。そしてしばらくして誰も入ることができなかったチョコレート工場にチョコレートの裏に金の紙が入っている子供5人を招待しました。一人目はオーガスタス、二人目はベルーカ、三人目はバイオレット、四人目はマイク、五人目は主人公のチャーリーが当たりました。工場に入って奥へ進むと広場みたいな所でました。ここでオーガスタスが脱落しました。次に発明室に行きました。そこでバイオレットが脱落しました。次にナッツの選別室に行きました。そこでベルーカが脱落しました。次にテレビ室に行きました。そこでマイクが脱落しました。一人になったチャーリーはチョコレート工場をもらいました。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

最初のチョコレートを作っている場面を見た時は、全部機械でやっているのかと思いました。あれだけの量を人の手で作るとなると大変ですね。次に思ったのが金の紙をあてるのがチャーリー以外強欲だなと思いました。その中でも一番わがままだったベルーカという人がすごいと思いました。リスをほしいからと言って、自分でリスを捕まえようとしていました。だけど、逆にリスが反撃してベルーカを撃退しました。おまけにベルーカの父親もゴミの中へ落とされました。そのときはスカッとしました。あと映画の中で出てきたエレベーターがありました。そのエレベーターがエレベーターのくせにカッコよく見えました。エレベーターなのにガラス張りで空も飛べるし、ボタンがいっぱいあるからカッコいいなと思いました。チャーリーとチョコレート工場はおもしろい映画だと思っていましたが、意外と感動する映画でもありました。